



ボデーショップレポート
For Body Repair Business

増刊号

2025
VOL.691

事故車 見積り スキルアップガイド

編集・発行人 小川直紀

編集・製作スタッフ 樋口祥三郎、長谷川明憲、
八木正純、高橋美穂、
石芳賢和、青山竜、木下慶亮、
武井宏樹、古瀬敏之、
渥美紅里、市井康義、加戸利一

月刊ボデーショップレポート

2025年増刊号 令和7年11月1日発行
第53巻 第9号 通巻691号

●発行所 株式会社プロトリオス

[東京編集課]

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3

TEL03-5939-4133 FAX03-5939-4135

[大阪編集課]

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-3-7

TEL06-6227-5601 FAX06-6227-5606

●年間購読料金

18,590円(税込)

単月号:1,430円(税込)

●印刷所 共立印刷株式会社

6 はじめに

PART

1

見積りグランプリ2025

講評編

8 見積りグランプリ2025 講評編

PART

2

見積りグランプリ2025

結果発表

32 見積りグランプリ2025 結果発表

34 第1位 中倉 浩 氏 日産岩手サービス 車体部(岩手県盛岡市)

39 第2位 池田 智信 氏 香川テストセンター(香川県高松市)

44 第3位 高橋 豊 氏 東洋ボデー(山口県周南市)

48 第4位 鈴木 淳 氏 幸栄自動車工業所(千葉県柏市)

53 第5位 城島 勝彦 氏 城島自動車(佐賀県伊万里市)

PART

3

決撮! 事故車写真塾

62 写真撮影に入る前に

64 写真撮影へ

68 事例からの考察

73 その他の写真事例

PART

4

フロント業務支援システム 及びサービス紹介

80 KANNA(カンナ) アルダグラム

81 BP経営マネジメントシステム EBE

82 WINCAR WINCAR ASIA

83 整備ナビゲーションサービス NECネットエスアイ

84 CaPro(キャプロ) 岡山トヨタシステムサービス

85 cogniSEVEN/ACESPROII/cogniPHOTOBASE/
cogniPHOTOBASEmobile コグニビジョン

86 CARLab(カーラボ) 自動車修理費研究所

87 Respect(リスペクト) 事故車損害調査協会(DAA)

88 TOMCAT SCOPE システムジャパン

89 TecRMIオンライン テックアライアンスジャパン

90 NIKKEN BS(ボディーショップ)サポート NIKKEN

91 Repair.c(リペアドットシー) ブロードリーフ

92 PAITEM(ペイテム) プログレスオート

93 モレノンIII プロトリオス

<https://bsrweb.jp>

※本誌の購読は最寄りの自動車補修用塗料または機械工具販売店にお申し込み下さい。



見積りグランプリ 2025

講 評 編

4年ぶりに開催した読者参加型企画見積りグランプリ2025。

昨今、工賃単価のアップをはじめ、日車協連の団体交渉、

国交省による工数調査など何かと事故車見積りに注目が集まる中、

日々現場で活躍するフロントスタッフの見積り作成技術の向上、

さらには業界の発展及び活性化につなげる目的で本大会を企画した。

ここでは、課題車種の情報や損傷状況などの前提条件とすべての損傷画像を振り返った後、

選考者であるボデーリペア技術研修所・永縄俊裕講師と

某メガ損保でアジャスターの指導などに携わった

元アジャスター A氏の2人が共同で作成した模範見積書を基に、

課題車種の見積り作成時のポイントを講評する。

さらに、現役アジャスター B氏に参加者と同条件で参考見積書を作成してもらい、

別の視点から課題車種の見積りについて解説を加える。

課題車種

日産ルークス

年式	令和4年（2022年）5月
型式	B4#系
車台番号	B45A-×××××××
エンジン型式	BR06（ターボ）
型式指定	19542
類別区分	0048
塗色コード	W13 ホワイトパール/3CP
グレード	ハイウェイスター Gターボ
走行キロ	27,422km

損傷状況

駐車場で停車中、後退してきた車両が2時方向（右前方）から後突した

ヒント

- ・電子制御装置整備対象車
- ・プロパイロット搭載車
- ・左右フロントサイドメンバーに損傷あり
- ・右フロントピラーに損傷なし
- ・右フロントドア及び右フロントドアガラスのマスキングテープは開けないように注意を促すために貼られたもの



応募要領

参加資格	全国の車体整備事業者
見積り作成条件	指数対応単価：7,500円 塗料：2K 塗装材料費：30% 値引き設定：なし
特記事項	●指数を使用、または応用して見積り作成すること ●塗装費用は一式ではなく、内訳明細まで記載して課題を提出すること

大会コンセプト

見積りグランプリは、BSR編集部が用意した損傷画像とヒントを基に、参加者に過去の経験などからイメージを膨らませながら見積書を作成してもらい、それを審査、採点する企画である。そのため、あえて一部の損傷状態を明確にせず、課題を提供することに留意いただきたい。また不公平がないよう、参加者全員が同一条件で見積書を作成するように徹底している。

模範見積書は、協定見積書をベースに作成しているが、実際の保険協定の現場で必ずしも認められることを保証するものではない。

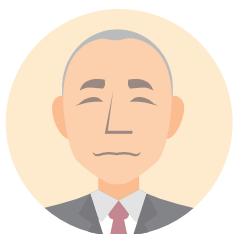
主目的は、参加者が模範見積書と自分が作成した見積書とを比較することで、新しい気付きや発見を得て、自らの見積り技術の向上につなげてもらうことにある。



講評

永縄俊裕氏

鈑金技術者兼ボデーリペア技術研修所講師



総評

2時方向からの逆突で、左右フロントサイドメンバーに損傷あり、右フロントピラーには損傷なし、のヒントからフロントピラーを支点にエンジンルームが少し菱形に変形していると思われる。しかし、主な損傷部位は右側に集中しており、左側には大きなダメージはなさそうだ。

上記の損傷状況からフロントパネルグループにおいて脱着及び取替を選択、右側のラジエーターコアサポート取替を中心に左右フロントサイドメンバー及び右フェンダーエブロン周辺部分の部品取替及び修正作業の見積り計上。また電子制御装置等搭載車のため故障診断やDTC消去など点検調整作業が必須になる。その他、塗装においても実作業として行われると思われる作業項目を見積り計上した。

外装関連

フロントバンパー取替については説明不要だろう。またフロントグリルを含めて数点の付属部品がずれていることから事故によるダメージと判断できるので取替選択が妥当である。

フードの扱いについては、取替と修理で意見が分かれた。写真からでは難しい判断だが、事故状況と損傷写真から判断するとフード全体の歪みとインナーパネル側の一部にも歪みが見取れるので取替が望まれる。また、左右フードヒンジにおいては、横方向からの入力に対して簡単に变形するので取替が妥当。

ディスタンスセンサーユニットは、比較的取替を選択した参加者が多いように思えた。運転支援システム再設定・調整作業は最終段階で行う作業で、作業着手直後の分解作業中におけ

る損傷確認は外板と性質の異なる部品のため、ブラケットなどを含めた入念な目視点検が必要になり、わずかなダメージでも確認できた場合は取替になる旨を伝えておきたい。

右フロントフェンダーは取替、右フロントドア先端部内側に右フロントフェンダーが入り込んでいることからフロントドアのアウト側、インナー側ともにダメージがあると推測できる。なおかつインナー側の修理においては、ドア装着状態では鈑金及び塗装作業ができないので、フロントドアの脱着作業が必要になると考える。しかし、ドア脱着の計上が漏れているのが散見されたので注意したい。

内板骨格・エイミング関連

フロント骨格部位の修正作業を前提とすれば、フロントパネルグループの脱着・取替は必須なのだが、左側に関して数カ所の部品脱着などの計上漏れがあったのは残念だった。加えて、フードヒンジ取替においてはフロントフェンダー取り外し状態なので、よく確認してもらいたい。

参加者の見積書を見ると、様々な数値が計上されており、ひとまとめで見積り計上できない難しさを痛感するとともに、目的は同じだが修理方法がいくつもある点が、見積りに正解はないと言われる所以だろう。

一例として、骨格部位の見積りの考え方を挙げてみたい。ラジエーターコアサポートは大きく歪んでいるので取替を選択、また左右フロントサイドメンバーは寸法的に狂っているが、充分に修正可能なレベルでラジエーターコアサポートとそれに取り付く部品を取替の対象として考えるのが妥当だろう。

上記内容を指数及び工数に置き換え

ると次の内容が考えられる。

右フロントサイドメンバーコネクタ
Assy片側、ラジエーターコアアッパ
ーサポート 取替 1.20

右ラジエーターコアロアサポートAs
sy、アドオンフレームインナーブラ
ケット 取替 1.50

ラジエーターサポート及び左右フロン
ト骨格 計測修正 2.00 (必要と思
われる任意の工数)

右フェンダーエプロン 鈑金修正
1.50 (必要と思われる任意の工数)

ボデー修正装置を使用するのを前提
に、それに掛かる時間をそれぞれの工
数に振り分けて見積り計上した。

エイミングについては、4輪アライ
メントが正常であるのが前提条件なの
だが、それ以前にボデーの骨格が正常
でなければ正しい4輪アライメントの
数値は出てこない。4輪アライメント
の測定も含めてボデーアライメントに
ついてほとんど触れられていないのが
実情で、少々偏った考え方で指数が作
成されているように思える。

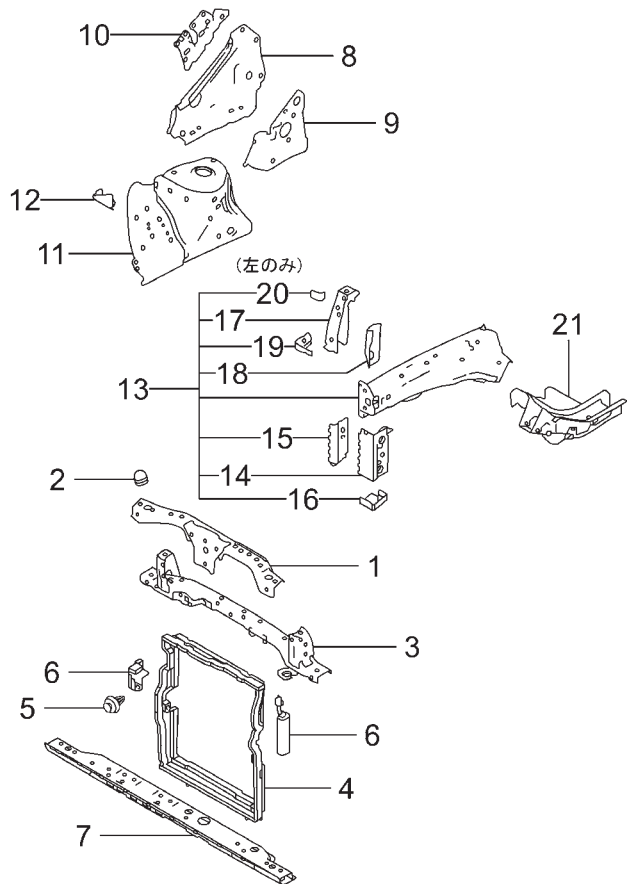
昨今、依頼主に対して作業内容をし
っかり説明し、納得いただいた上で修
理することが求められている。こうし
た透明性確保の観点からも、外注作業
だからといって見積書に一式計上する
のではなく、説明責任が果たせるよう
作業ごとに詳細を計上するのが望まし
いだろう。

エンジンルーム内作業

エンジンルーム内の配線・配管費用
は概ね見積り計上されており、しっか
り確認されているように感じた。

注意したいのはクーラーガス。古い
タイプのHFC-134aのガスを計上し
ている見積書が散見された。課題車種

ラジエーターサポート&サイドメンバー構成図



の場合、HFO-1234yfが正しく、実
車確認であれば起こらない間違いだろ
うが、やはり見積りする車両の情報
は、FAINESなど整備解説書で正しく
確認したい。

塗装関連

PC見積りのままでは、実際に該当
する塗装作業の見積り計上のない項目
が数点あった。もう少し注意深く見積
り内容を確認すると良いだろう。

新しい項目では、内板塗装における
マスキングの工数が見積り計上されて
いた。作業の意味は十分に理解できる
が、マスキングの工数は塗り数値に含
まれているので、計上の対象になるの
か否か、作成者に話が聞いてみたい。

塗装では、指数に含まれていない作
業の漏れが散見される。PCで見積書
を作っているのであれば用語や工数を
事前に登録しておくなど、すぐに活用
できる一工夫を加えてみてほしい。

前述した通り、「見積りに正解はな
い」とよく言われる。しかし、毎日行
う作業において、その作業内容に見合
った妥当な対価を請求するためにフロ
ントと現場が常にコミュニケーション
を取りながら仕事を進めていけば、あ
る一定の工数とそれに伴う単価が導き
出せる。それを基に見積書を作成すれ
ば、その会社における「正解見積り」
に辿りつけるはずだ。ぜひ、日々の努
力を惜しまないでほしい。